



FUKUI 2024

第  
47  
回

全国育樹祭

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

## 令和6年 福井県 開催の記録



第47回全国育樹祭福井県実行委員会





## 全国育樹祭とは

全国育樹祭は昭和52年から毎年秋季に行われている国民的な森林・緑の祭典です。

天皇皇后両陛下がお手植えされ、成長した樹木に皇族殿下がお手入れされる育樹活動のシンボリックな「お手入れ行事」と、皇族殿下によるおことばや各種表彰などが行われる「式典行事」等を通じ、健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えています。



## 発刊にあたって



第47回全国育樹祭福井県実行委員会会長

福井県知事 杉本 達治

令和6年10月19日と20日の両日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマに、第47回全国育樹祭を開催いたしました。

10月19日に「一乗谷朝倉氏遺跡」(福井市)で開催しましたお手入れ行事では、平成21年の第60回全国植樹祭において、当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたアカマツとスダジイに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ(枝打ち・施肥)を賜りました。植樹祭、そして育樹祭を経た一乗谷の豊かな緑を通じて、継続して森を守り育てることの大切さを未来へと伝えてまいります。

また、10月20日には「サンドーム福井」(越前市・鯖江市)で、県内外から約3,700人の皆様に御参加いただき式典行事を開催しました。式典では、秋篠宮皇嗣殿下からおことばを賜るとともに、緑化等功労者の表彰や緑の少年団の活動発表のほか、福井県の林業の取組みの紹介や若い世代が大勢参加した合唱やダンスなどのアトラクションを交え、森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を全国に発信しました。

育林交流集会、全国緑の少年団活動発表大会、森林・林業・環境機械展示実演会などの併催・記念行事を含めた一連の行事には、約24,000人もの方々に御来場いただき、盛会のうちに終えることができました。開催にあたり、御尽力、御協力いただきました多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

この全国育樹祭を契機に、収益性の高い森林において、森林の所有と経営を分離して効率的に主伐・再造林・保育を進める、ふくい型林業経営モデルによる「大きな林業」と、簡易な機械で木材生産を行う自伐型林業と副業を組み合わせた「小さな林業」を両輪として、山の価値を最大化する「Fukui Forest Design」を一層推進するとともに、森を「守り」「活かし」「慈しむ」取組みを力強く進めてまいります。

結びに、この記録誌が本大会の成果と感動を後世に伝え、「木を伐って使い、植え育てる」機運が県全体、そして全国へ広がっていくことを祈念して、発刊の挨拶とさせていただきます。





## 目次

|               |   |
|---------------|---|
| 第47回全国育樹祭開催概要 | 1 |
| 大会テーマ等の紹介     | 2 |

### お手入れ行事

|                    |    |
|--------------------|----|
| お手入れ行事             | 4  |
| 記念育樹               | 9  |
| 会場の様子              | 12 |
| お手入れ行事を支えていただいた皆さん | 13 |

### 式典行事

|                  |    |
|------------------|----|
| プロローグ            | 16 |
| 秋篠宮皇嗣同妃両殿下 御入場   | 18 |
| 開会のことば           | 19 |
| 三旗入場             | 19 |
| 緑の少年団入場行進        | 21 |
| 国歌斉唱             | 22 |
| 主催者あいさつ          | 24 |
| 歓迎のことば           | 26 |
| 秋篠宮皇嗣殿下のおことば     | 28 |
| 緑化等功労者の表彰        | 30 |
| 緑の贈呈             | 32 |
| 緑の贈呈用苗木の育成       | 33 |
| 緑の少年団活動発表        | 34 |
| メインテーマアトラクション    | 36 |
| 大会宣言             | 40 |
| 次期開催県あいさつ        | 41 |
| 閉会のことば           | 42 |
| 秋篠宮皇嗣同妃両殿下 御退場   | 43 |
| エピローグ            | 44 |
| 式典会場の装飾          | 47 |
| おもてなし広場          | 48 |
| ウェルカムゾーン         | 51 |
| 式典行事を支えていただいた皆さん | 53 |

### 懇談会

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 懇談会                       | 66 |
| 福井県内林業関係者との御懇談(地方事情御視察にて) | 68 |

### 併催行事・記念行事

|                        |    |
|------------------------|----|
| [併催行事] 育林交流集会          | 70 |
| [併催行事] 全国緑の少年団活動発表大会   | 72 |
| [記念行事] 森林・林業・環境機械展示実演会 | 75 |

### 開催までの歩み・その他記念行事

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 第47回全国育樹祭 開催準備協議会／<br>福井県実行委員会 | 78 |
| [記念行事] カウントダウンボード除幕式           | 78 |
| [記念行事] 国民参加の森林づくりシンポジウム        | 79 |
| [記念行事] 福井県緑の少年団活動発表大会          | 80 |
| [記念行事] 第14回みどりと花の県民運動大会        | 81 |
| [記念行事] 県民育樹行事                  | 82 |

### 広報等の記録

|        |    |
|--------|----|
| 広報等の記録 | 85 |
|--------|----|

### 記録

|    |    |
|----|----|
| 記録 | 92 |
|----|----|

### 第47回全国育樹祭に御協賛いただいた皆様

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 第47回全国育樹祭に御協賛いただいた皆様 | 125 |
|----------------------|-----|

## 第47回全国育樹祭開催概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われています。



## 開催の方針

### 森林・林業に関するこれまでの取組み

- 主伐・再造林による森林資源の循環利用
- 県産材の積極的な利用
- 森林の多様な活用による山村の振興
- 子どもたちへの森林環境教育の推進
- 災害に強い森づくり

### 第47回全国育樹祭の開催

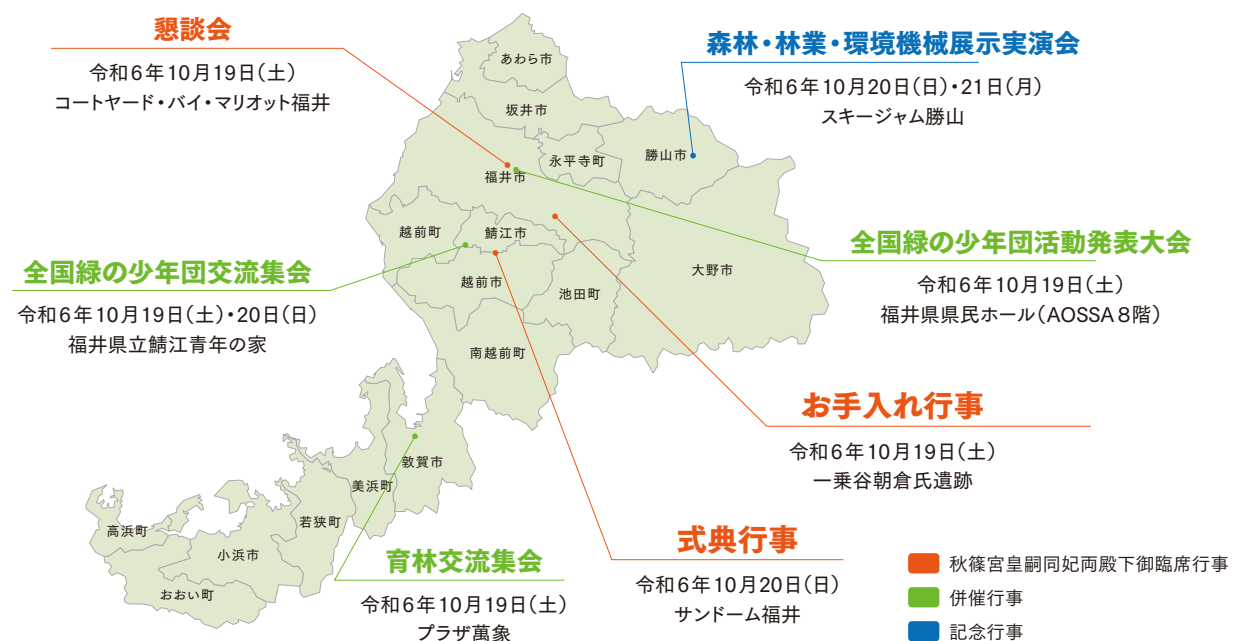
- 「緑と花の県民運動」を一層推進
- 森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を再認識

「木を伐って使い、植え育てる」機運を醸成

美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさとを  
次世代に引き継ぐ



## 開催日・場所



## 大会テーマ等の紹介

### 大会テーマ

# 「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」

作者 <sup>いのうえ やすし</sup> 井上 靖さん [神奈川県小田原市]

#### 【講評】

新たな芽吹きがやがて緑の大地となるように、育樹活動を通して大切に育てていこうという思いが表現されています。大きく成長した木々からもたらされる様々な恵みは、私たちの豊かで幸せな暮らしにつながっていくというメッセージが感じられます。

### シンボルマーク

作者 <sup>みやがわ</sup> 宮川 さやかさん [長野県長野市]

#### 【講評】

まず一目見て、福井を象徴する「F」が際立ったデザインに目が留まります。一般的な樹木のイメージは「緑色」ですが、その源となる「水」を想起する青緑色が新鮮で、持っている種から芽吹いた若葉色がさらに引き立っています。九頭竜川を題材にした個性的な「F」のシンボルマークは、大会テーマとの相乗効果で、福井から発信する新たな独自性が感じられます。



### ポスター原画

タイトル：

# 「新しい生命」

作者 <sup>みたむらくみ</sup> 三田村 空美さん [越前市南越中学校1年(令和4年度)]

#### 【講評】

朽ち果てたかのような切り株から、新しい命が芽吹くドラマチックな森のシーンがとてもみずみずしい。まさに今世界が目標とする、SDGsに対応するような見事な視点です。人の作為や想像を超えた、自然の雄大な生命力を感じさせる表現は大会テーマと呼応する、福井大会にふさわしい広報ポスターです。



## お手入れ行事





令和6年10月19日に福井市の「一乗谷朝倉氏遺跡」で開催したお手入れ行事では、平成21年に開催された第60回全国植樹祭で当時の天皇后陛下がお手植えになられたアカマツとスダジイに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下にお手入れ(枝打ち・施肥)を賜りました。

## お手入れ行事

### ■会場御着

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、お手入れ行事会場である一乗谷朝倉氏遺跡に御到着され、福井県知事、大会会長、国土緑化推進機構理事長のお出迎えを受けられました。会場へは、福井県知事の先導により御入場になりました。



### ■全国植樹祭パネル 御覧



秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、緑の少年団から説明を受けながら、第60回全国植樹祭等のパネルを御覧になりました。



第60回全国植樹祭の様子



緑と花の県民運動の概要

平成21年の第60回全国植樹祭では、当時の天皇陛下がウスズミザクラ、アカマツ、ケヤキの苗木を、皇后陛下がウワミズザクラ、トチノキ、スダジイの苗木をお手植えされました。

第60回全国植樹祭の開催後、「緑と花の県民運動」として、「元気な森をつくる運動」「自然を知り伝える運動」「緑と花のふるさとをつくる運動」の3つの運動に取り組んでいます。



■ 枝打ち



アカマツの枝打ちをされる皇嗣殿下



■ 施肥



スダジイに施肥をされる皇嗣妃殿下



埋戻しをされる皇嗣殿下



## 🌳 お手入れ行事

### ■ お声がけ



### ■ お手入れ道具

福井県産材を使用し、「手鋸」「肥料入れ」を製作しました。

「鍬」「おしぼり用受け皿・盆」は、第60回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下が御使用になられたものを活用しました。



## 🌳 記念育樹

お手入れ会場では、会場の樹木に施肥を行う育樹活動を行いました。

大会会長をはじめとした参加者代表の皆様が、緑の少年団や高校生と一緒に記念育樹を行いました。



大会会長(参議院議長)  
尾辻 秀久



農林水産大臣  
小里 泰弘



公益社団法人国土緑化推進機構理事長  
濱田 純一



福井県知事  
杉本 達治





福井県議会議員  
宮本 俊



宮城県副知事  
伊藤 哲也



福井市議会議員  
池上 優徳



大会会長の育樹の様子



宮城県議会議員  
高橋 伸二



福井市長  
西行 茂



農林水産大臣の育樹の様子



福井県知事の育樹の様子



## 会場の様子



歓迎アトラクション 二胡演奏



県産木材で製作した  
ベンチ(上)  
プランターカバー(右)

福井県立福井農林高等学校の  
生徒が育成した花



## お手入れ行事を支えていただいた皆さん

### ■介添え・パネル説明・育樹活動補助



福井市一乗みどりの少年団



福井市東郷みどりの少年団



## お手入れ行事を支えていただいた皆さん

### ■ 介添え・育樹活動補助



福井県立福井農林高等学校

### ■ 司会進行



山田 恵梨子

### ■ 歓迎アトラクション



中山 靖子



## 式典行事

